

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和元年度分）

施設	名称	出流ふれあいの森
	所在地	栃木市出流町
	施設内容	森林公園の管理、
指定管理者	名称	みかも森林組合
	所在地	佐野市戸室町685-1
	主な業務内容	組合員の為の林業指導、支援等

(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか

管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値
	アンケート数		100件	9
	利用者意見反映数		3件	0
	利用案内掲示数		2か所	2か所
	利用者満足率		80%	88%
	業務改善数		4件	0件

評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	II	0.8	20

指定管理者コメント	<p>①森林の持つ多目的機能により、森林の空間を最大限利用し公園の維持、保全に当たっています。その目的については雇用時に説明しています。男性2人は、定年後の林業就労希望でしたが、年齢を加味して公園の維持管理に当たらせています。</p> <p>② 市民、他県民、減免対象者の利用も平等に対応しています。</p> <p>③アンケートの結果により、職員間で対応できるものは、ただちに対応しています。また栃木市へは随時報告しています。</p> <p>④賃金支払日（月末）今月の反省点の確認、翌月の課題を提供し職員教育を実施しています。</p>
-----------	---

施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：施設の設置目的や特性については、従業員教育を通じて理解の促進が図られている。②：施設予約は電話受付にて行っており、利用承認・使用料の決定は平等に行われている。③：管理棟にアンケート回収箱を設置しており、比較的容易に対応できるものについては対応し、予算等の措置を伴うものについては適宜農林整備課と協議を行っている。④：令和元年度において大きな苦情はない。</p> <p>【管理状況評価指標】令和元年度におけるアンケート回答数は9件と計画値を下回るものであったが、満足率（「大変良かった」又は「良かった」）は88%と、一定の評価を得ている。また、近年におけるGoogleMap上での、利用者による書込み・コメントも、好評価なものが多い。アンケート結果からは、「業務改善」により対応すべきニーズは、主に施設のハードウェアに関するものと認められるので、所管課としては、今後指定管理者と検討を進めたい。なお、アンケートに関しては、積極的な回収に努めるとともに、管理状況評価指標としては現実的な計画値を設定する必要がある。</p>
-----------	--

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み							
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか					
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか					
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	利用者数（入込者数）		19,000人	20,933			
	広報紙発行数（本所）		4,000部	掲載なし			
	新規事業数		1事業	1事業			
	地域との協働事業数		2回	2回			
	協働等事業参加者数		延べ10人	延べ10人			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	I	1.0	20	II	0.8	16
指定管理者コメント	<p>①9月までは昨年を上回る数字を計上したが、10月以降は台風による被害でほぼ休業状態でしたが、しかし公園管理事業は昨年並みの数字を残せました。</p> <p>②昨年に引き続き、平日利用の促進の為、高齢者施設を訪問し、車イス対応の公園として、スロップの修繕をしました。食堂利用期の10月以降の休業状態は残念でした。</p> <p>③7、8月の間、休まず営業し、平日のキャンプ利用者は増加しました。対する修繕費も施設の老朽化により大幅に増加しました。</p> <p>④地元観光協会との連携により、観光会主催にイベントに従業員を派遣し、会場の場所の提供もしています。また緑地管理、宿直と地元からの雇用で対応してきましたが、高齢化により困難を極めている状態です。</p>						
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：台風19号による影響により収入支出ともに対計画・対前年度減少となったが、全体としては事業計画どおりの管理運営といえる。②：森林組合のホームページ内のページ開設により、施設の周知が図られている。③キャンプ場及びバーベキュー広場の利用可能期間（4月～それぞれ10月、11月）の延長は困難であるが、7月、8月の繁忙期を休まず開館することで、昨今のキャンプブームによる新規利用者を取り込んでいる。④12月の寒晒そば奉納イベントの際に、新そばを食堂（やまぶき）でふるまうほか、地元観光会への参画など、地域との連携が高く評価できる。また、緑地管理及び宿直については、地元住民の高齢化に伴う雇用の困難を理由に、業務委託や地元以外からの雇用により行っているが、可能な限り地元での雇用に努めるとともに、地域との連携をさらに強化されたい。</p> <p>【管理状況評価指標】森林組合発行の広報誌の誌面スペースの都合上、ふれあいの森に関する記事掲載が、できなかったとのことであるが、インターネットによる周知に紙媒体を含めた多角的な広告が今後は有効性を増してくると考えられるので、記事掲載に取組まれたい。なお、パンフレットの発注は評価できる。</p> <p>令和2年2月に新規事業として実施した、栃木市みんなの元気な森づくり支援事業交付金を活用した各種取組は、施設の新規利用者開拓のみならず、森林の持つ様々な役割や機能についての理と関心を深めるのに、非常に有効であると考え。今後もこのような取組みの継続を期待する。</p> <p>そば打ち体験教室の開催回数が多いのは、大変好ましい（7回）。今後は、利用者による口コミやSNSを通じて、施設の魅力発信に努められたい。</p>						

(3) 施設経費の削減の取組み							
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか					
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか					
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか					
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか					
管理状況評価指標	指標名		計画値	実績値			
	経費削減額		100,000円	871,266円			
	経費削減率		5%	4.60%			
	見積合せ実施数		3件	0件			
	施設修繕数		5件	4件			
	備品等更新数		2件	3件			
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	15	I	1.0	15	II	0.8	12
指定管理者コメント	<p>①利用料金は予約時に説明し、受付時に徴収しています。専用通帳で管理しています。</p> <p>②平日と土、日のシフト制を採用し、夏休みは本所から応援で対応し、サービスの低下は無いと思います。</p> <p>③同一業者と長く委託して問題もあるが、遠隔地のため、警備は中継所を設ける必要があり、高いものになっています。また浄化槽管理、清掃も近隣で対応でき、見積徴収に応じる業者もなく、今後の検討課題です。</p> <p>④建物の補修は随時、可能な限り交換補修を実施しています。上水道の導入により光熱費は大きく減少しましたが、台風の影響で施設の補修は大きく増加しました。またゴミの分別の徹底により、途中の不法投棄もほぼ無くなり、近隣からの苦情もなくなりました。</p>						
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：利用料金は、受付時に現金で徴収し、その後、指定管理料及び食堂売上等の他の収入金と併せて指定管理用口座に預入し、それぞれ収入金の整理票を用いて管理している。</p> <p>②：緑地管理経費について、各年度の状況に応じ、直営（森林組合林業担当職員による作業）と外部事業者への業務委託とを使い分け、費用対効果の向上を図っている。③：隔地であることから、業務を発注する際に競合可能な事業者は限定される。④：キャンプ場等利用者に対し、受付時にゴミの分別に関するチラシを交付し、環境への配慮が認められる。また、施設内のごみ集積場も適切に管理されている。</p> <p>【管理状況評価指標】支出総額871,266円の減のうちには、台風19号による影響も認められるが、光熱水費等ランニングコストについて圧縮の取組が認められる。なお、施設の維持補修については、適切に対応できている。</p> <p>経理方法に関しては評価要素①のとおりであり、遺漏なく計上されているが、決算調製において収入金額を消費税込み金額表示するにあたり、端数の扱いに異同が生じている。現在の経理システム上対応が困難とのことであるが、帳票の信頼性のために、改善されたい。</p> <p>保守点検等の複数年委託については、複数年契約とすることによる委託費の圧縮幅を見極めた上で、できる限り取り組んでもらいたい。</p>						

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	① 施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか					
	② 職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか					
	③ 職員の福利厚生は充実しているか					
	④ 各種税金や社会保険料等は適切に納められているか					
	⑤ 団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>					
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			3人	3人	
	研修会開催数			2回	1回	
	研修会参加者数			10人	1人	
	勤務時間数(1人当り)			40時間/週	37.5時間/週	
	経営収支比率(平成30年度決算値)			100%	138%	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	I	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①地元職員で対応してきましたが、専任職員以外遠方からの通勤者でコスト高になっています。</p> <p>②月末の会議、食品衛生講習、防火訓練を実施し、研修として他の指定管理者施設へ派遣し、相互研修を実施しています。</p> <p>③働き方改革により、交通費の支給、社会保険の加入、賃金単価の引き上げの実施。2年度からはパートさんの有給休暇を実現します。</p> <p>④各種税金、社会保険は完納です。</p> <p>⑤相次ぐ、自然災害に見舞われ、厳しい経営状況ですが、別紙の数字の通りです。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①:常勤の総括責任者1名及び3名のパート職員の計5名を雇用し、来場者の多い週末には5名、平日は3名を配置し、繁忙期にはみかも森林組合のその他の職員の応援により補充。②:OJTを基本としたうえで、毎月末の事務打合せ時に情報・認識の共有を図っている。③:みかも森林組合の産業医による健康相談等を実施。④:適切に納入されている。⑤:経常収支比率137.72%(平成30年度決算)。</p> <p>【管理状況評価指標】経常収支比率は100を超えるものの、林業界全体の置かれている状況は厳しく、今後、指導・販売・森林整備による増収は困難を伴う。そこで、指定管理事業について経費の削減を図るとともに、新規利用者の獲得のための取組みを実施し、みかも森林組合全体の増益を図られたい。</p>					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	① 日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	② 緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	③ 避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	④ 具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	安全定期点検実施回数			2回/年	3回/年	
	事故発生件数			0件	0件	
	安全講習会等参加者数			1人	1人	
	訓練実施回数			2回	2回	
	訓練参加者数			10人	延べ11人	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	<p>①施設の巡回は、毎日目視で実施ししています。また遊具の点検は前期中心に年3回実施し、事故の発生を防いでいます。</p> <p>②緊急連絡網で対応し、年1回訓練を実施しています。</p> <p>③年2回実施しています。</p> <p>④宿泊者名簿は金庫で保管し、個人情報の管理に努めています。</p>					
施設所管課コメント	<p>【評価要素】①：施設の老朽化に伴い、安全対策がより一層重要となってくるが、日常安全点検（遊具のがたつき・倒木の有無・火の始末等）に加え、ローラーすべり台等遊具については年3回の定期点検（業務委託）により、適切な対策がなされている。②：危機発生時における組織体系は確立されている。③：年2回実施。④：利用者の個人情報は、主に宿泊者名簿に記載され、金庫にて保管・管理されている。</p> <p>【管理状況評価指標】適切に対応されていると認められる。</p>					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	25	20	19.6
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	16	16.8
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	12	12.8
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	20	20	18.8
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	20	20	19.0
評価点合計	100	96	88	87.0
総合評価		A	A	A

第3次評価（選定委員会評価）

選定委員会コメント

- 【平等利用の確保とサービス向上の取組み】
- ・利用者意見反映数が0件となっており、利用者の意見を反映させる姿勢が必要。
 - ・アンケート回収数が少ないので、アンケートに協力してもらえるように実施方法を工夫されたい。
 - ・地元地域での雇用が難しくとも、地域社会との協働による運営につながる取組を強化されたい。
- 【施設の効用を最大限に発揮する取組み】
- ・台風被害による休業にもかかわらず利用者数が計画値を上回ったことは、評価できる。
 - ・ホームページが指定管理者の紹介になっており、施設の紹介になっておらず、施設広報が消極的すぎる。施設を利用して得られる楽しさ等が伝わる内容に改善して欲しい。
 - ・SNS等を利用した情報発信にも力を入れて欲しい。
- 【施設経費の削減の取組み】
- ・立地特性による難しさもあると思うが、今後も経費削減に努力されたい。
 - ・ゴミ分別の徹底による不法投棄対策等の対応は、評価できるので継続されたい。
- 【施設の管理を安定して行うための取組み】
- ・台風被害による影響もあったと思うが、研修会参加者数を増やされたい。
- 【施設の安全対策、危機管理体制の取組み】
- ・特定の職員が不在だと対応できないというようなことが無いような体制整備を心掛けて欲しい。
- 【その他】
- ・子供たちが自然体験をできる施設であるため、小学校やスポーツ少年団体等への絞った周知活動も検討されたい。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3カ年の情報を記入してください。

決算年次	29年3月	30年3月	31年3月
資産総額	513,184,108	470,280,804	449,557,860
売上高	325,432,501	332,698,632	321,774,329
経常利益	10,761,694	885,491	3,720,921
当期利益	8,911,031	359,491	2,993,558
経常収支比率	140.13%	137.45%	137.72%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	29年3月	30年3月	31年3月
経常費用	232,232,033	242,046,616	233,645,426
経常収益	325,432,501	332,698,632	321,774,329
経常収支比率	140.13%	137.45%	137.72%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

林業団体を取り巻く状況は、木材市況の低迷、林業労働者の減少、高齢化により、当組合の経営も厳しいものがあります。しかしながら県南地区唯一の林業団体として、莫大な面積の森林を守り、各種補助事業を導入し組合員への利益還元に努めています。平成20年度から黒字経営を継続しています。